



# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2017.10.23 No.2253 No.12

# Rotary



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長

**野崎 正明**

Masaaki Nozaki

みつめよう  
豊かな心で

皆さん こんにちは。

超大型の台風21号が、現在、東北太平洋側に抜けた模様ですが、昨晩は風雨の強さで、睡眠もままならない状況が続いたように思われます。引き続き、暫くは十分注意をしていただきたいと思います。

さて、明日10月24日は『世界ポリオデー』となっております。世界各地でイベントが開催され、撲滅への募金集めを目的に、様々な活動が展開される予定であります。

当2560地区ではこうしたイベントは実施されておきませんが、各クラブ毎で使徒指定寄付 ポリオ・プラス寄付として、撲滅に貢献しております。

三条南ロータリークラブは、年度毎のガバナー方針に則り実施しており、昨年度は一人当たり15ドル、今年度は2倍の一人当たり30ドル(約3,360円)の目標額が設定されております。為替の変動もありましたので、既にロータリー日本財団に送金させていただきました。

ここで、ポリオの歴史と現状について少し紹介いたします。

1979年にポリオ撲滅に向けて、フィリピンで生後3か月から36か月の子供 約600万人に対して、5か年計画のポリオ免疫計画を始めました。

1985年、ロータリークラブ創立80周年に当たりまして、「ポリオ・プラス計画」が開始されました。

2015年には、ナイジェリアで野生種由来の発生がゼロとなりましたが、昨年2016年に再び発生し、現在では、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3か国となっております。

昨年の『世界ポリオデー』では、約90か国で、当日にちなんだイベントが1,400件開催されたと言われております。

グレートブリテン及びアイルランドの国際ロータリーは、7歳から11歳を対象にした“ポリオ作詞コンテスト”を開催し、各地区から1名が選ばれ、さらにその中から選ばれた優勝者に、2016~2017年度のRI会長表彰がおこなわれ、結果として大きな寄付が集まりました。

また、カナダ第7070地区のロータリー会員がタンザニアのキリマンジェロの登頂に成功、この登山に挑んだ3人の会員は、約5,700m以上の登頂からポリオ撲滅メッセージを行い、50万ドル(約5,600万円)の寄付を集めることに成功しました。アメリカ・ネブラスカ州の1クラブは、ホットケーキとコーヒーを一人5ドルで振る舞うイベントを実施し、100人以上が集まり、集まった人による撲滅への寄付で大きく貢献することが出来ました。

## 四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

国際ロータリー会長  
第2560地区ガバナー  
第4分区ガバナー補佐  
会長  
幹事  
S A A

イアンH.S.ライズ [オーストラリア]  
新保清久 [新潟万代]  
鈴木武 [三条南]  
野崎正明  
熊倉高志  
吉沢栄一

事務局

〒955-8666 三条市旭町2-5-10

**三条信用金庫本店 内**

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

U R L http://www.sanjo-minami.jp

# Rotary



こうしたロータリーのポリオ撲滅活動は、ニューヨークタイムズ誌やワシントンポスト紙など有数の世界のニュースで大きく紹介されております。

私たちがロータリー活動を続けていくことで、ポリオの撲滅が1日でも早く達成されることを願うものであります。以上、本日の挨拶といたします。

出席率 会員48名中29名 先々週の出席率 95.74%(10/5)

ゲスト ライラ研修生 三条信用金庫 山谷 誠さん 堀内 諒さん

先週のメイクアップ 10/17 三条北RCへ 船久保孝志君 広岡豊樹君 永井篤利君 野島廣一郎君

坂本洋司君 坪井正康君 吉沢栄一君

10/17 50周年式典委員会へ 船久保孝志君 長谷川直哉君 平松修之君 永桶俊一君

齋藤嘉一君 佐々木常行君

10/19 燕RCへ 阿部隆樹君 船久保孝志君 広岡豊樹君 加藤峰孝君 永井篤利君

## ロータリー財団表彰

■ポール・ハリス・フェロー 年次基金、ポリオプラス、あるいは財団が承認した補助金に、累計 1,000 ドル以上寄付された方

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

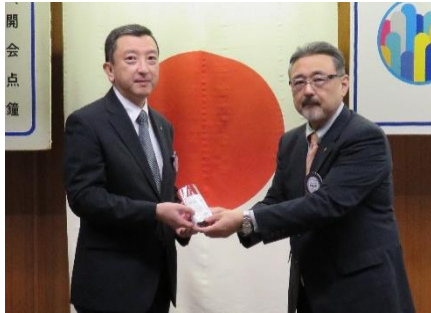
年次基金、ポリオプラス、あるいは財団が承認した補助金に、累計 1,000 ドル以上寄付された方は、その後 1,000 ドル毎にマルチプル・ポール・ハリス・フェローが授与されます。2,000 ドルから 9,000 ドルまで 8 段階あります。

(例：2,000 ドルに達した場合、段階 1 となります)

ポール・ハリス・フェロー

加藤峰孝 君

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



熊倉高志君 … 段階1



松崎孝史君 … 段階1

## 幹事報告

熊倉 高志 幹事

新発田城南RCより「ライラ研修」参加協力お礼

※ 10月14～15日 於：ロイヤル胎内パークホテル

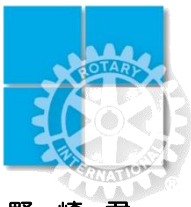
当クラブより 研修生2名 三条信用金庫 山谷 誠さん、堀内 諒さん

内藤豊大青少年奉仕委員長、木村 譲青少年奉仕委員 4名参加

## 11月のお祝い

- ◆ 会員誕生 29日 船久保孝志君
- ◆ 夫人誕生 4日 渡辺英美子(和宏)さん 26日 丸山裕美子(智)さん
- ◆ 結婚記念 12日 長谷川直哉君・有希子さん 13日 西潟精一君・千代さん  
15日 佐藤秀夫君・千枝さん 21日 丸山 智君・裕美子さん  
26日 渡辺和宏君・英美子さん

\*おめでとうございます\*



## ニコニコボックス

- 野崎君 ライラ研修報告の内藤委員長始め参加いただきました山谷さん、堀内さん、本日はよろしく願いいたします。
- 熊倉君 ライラ研修報告、山谷さん、堀内さんお話し楽しみにしています。
- 内藤君 今日にはライラの報告です。
- 木村君 山谷さん、堀内さん、先日はライラ研修おつかれ様でした。おふたりの今後の活躍を期待しております。
- 西潟君 山谷君、堀内君、ライラ研修 お疲れ様でした。いろいろ経験したと思いますので実践に生かしてってください。
- 星野君 ライラ研修会に参加された山谷さん、堀内さん お疲れ様でした。
- 田代君 ライラ報告、ご苦労様です。
- 鈴木(囿)君 本日の卓話、内藤青少年奉仕委員長ご苦労様でした。
- 西巻君 クラブから素晴らしい花のお祝いをいただき、結婚記念日を思い出しました。有難うございました。
- 坂井君 四国八十八ヶ所巡礼まわりをして来ました。今回は半分を回りました。



10月23日 ¥17,000  
今年度累計 ¥170,000

- 名古屋君 12日間の選挙戦、ご迷惑をおかけいたしました。安倍政権には謙虚さと国民目線で事にあたってもらうことを期待し、4区当選者には、三条と日本の未来のためにご尽力いただきたいと思っております。
- 坪井君 台風の影響もあり、寒さと風が大変です。体調管理に気をつけましょう。
- 丸山(征)君 台風が近付いたが、大したことがなくて良かったです。
- 佐藤君、銅冶君、渡邊(久)君 BOXに協力いたします。
- 平松君 本日、突然のボックス担当になりました。皆様ご協力有難うございました。



## 「ライラ研修報告」

### RYLA

「ライラ」(RYLA)とは「Rotary Youth Leadership Awards」の頭文字をとったもので「ロータリー青少年指導者養成プログラム」と邦訳されています。

ロータリー青少年指導者育成プログラムは、ロータリーが実施する若者たちの研修プログラムです。ライラの対象となるのは年齢14~30歳の青少年ですが、多くのクラブでは、14~18歳、19~30歳など、年齢層を絞って実施しています。ライラはリーダーシップ、良き市民、人間としての成長を強調しています。

## 第17回 ライラ研修

- 研修テーマ
- 研修期日
- 研修及び宿泊会場
- ホスト RC

「より、気持ちの良いまちづくりを求めて！」  
2017年10月14日(土)・15日(日)  
ロイヤル胎内パークホテル・胎内アウレツ館  
新発田城南ロータリークラブ

### 第1日目：14日(土) 研修タイムスケジュール

- 9:50 開会式
- 11:00 「研修について」オリエンテーション
- 12:00 昼食
- 13:00 「研修」  
質問に沿ったワークショップ方式研修
- 17:10 ルームメイトとの顔合わせ
- 18:00 懇親会
- 20:20 入浴・自由時間
- 22:00 就寝

### 第2日目：15日(日) 研修タイムスケジュール

- 7:30 朝食 各部屋の片付け
- 8:40 「研修」  
質問に沿ったワークショップ方式研修
- 10:50 研修生 感想発表
- 11:30 昼食
- 12:30 閉会式
- 13:00 解散



研修講師  
安藤頌太郎氏 評論家(地域問題・自治行政)

**プロフィール** 昭和16年東京生まれ・昭和39年早稲田大学 第一政経学部卒業  
現在、全国の地域、自治体において、地域活性化・行政活性化等について講演、助言を続ける一方「古典を読む会」陽塾の講師として開催地にて活動中



## 内藤 豊大 青少年奉仕委員長

去る10月14日、15日の二日間、「国際ロータリー第2560地区 第17回ライラ研修」がロイヤル胎内パークホテルにて開催されました。

研修テーマ「より、気持ち良いまちづくりを求めて」を題材に新発田城南ロータリークラブがホストとなり、県内の18歳から30歳までの、ローターアクトの方々も含めた80名近い研修生が参加いたしました。

当クラブも今回も三条信用金庫の西潟理事長のご協力をいただき、三条信用金庫燕西支店勤務の入社2年目の山谷君、大崎支店勤務の同期で入社2年目の堀内君の2名が研修生として参加されました。

講師には、全国の地域、自治体において地域活性化、行政活性化等について全国で講演、助言を続け、新潟でも新発田市や上越市などで「古典を読む会」陽塾を開催されている安藤頌太郎氏をお迎えし、地域のまちづくりに若者がどう取り組むかを主体に研修を行いました。

安藤さんは自他ともに認める毒舌で、私達ロータリアンを「老害」と揶揄したり、研修生にも「けんかするつもりでぶつかる」などと冒頭の挨拶からその凄みに圧倒されました。

また、よく使われるグループディスカッションは一切行わず、研修生一人ひとりと対話形式で研修を行い、研修生に必ず意見を述べさせていました。研修生達も最初は安藤さんの勢いにのまれ困惑していましたが、徐々に自分達の本音をぶつけて安藤さんと真剣に討論をしていました。

山谷君、堀内君もしっかりと自分の意見を述べていましたし、研修の最後には少しでも自分の住むまちについて再認識するよききっかけがくれたのではと思います。

宿泊場所は、ロータリアンも含めて全ての方がロイヤルホテル旧館の“アウレツ館”での宿泊となり、タオル、歯ブラシ、寝間着もなし、布団も自分でシーツ、カバーをかけてくださるような、昔の学校行事の少年自然の家での思い出を彷彿させられるようなところでの宿泊でした。ロイヤルホテルで温泉につかってのんびりするイメージでいた私は少し面喰いしましたが、ある意味貴重な体験となりました。

つきましては、二日間の研修参加報告を山谷君、堀内君からこれから発表してもらいたいと思います。よろしくお願いいたします。

最後に、今回もご協力いただいた三条信用金庫 西潟理事長、改めて有難うございました。



## 三条信用金庫 山谷 誠さん

初めまして。三条信用金庫燕西支店の山谷 誠と申します。

この度は、ライラ研修に参加させていただき、ありがとうございました。私は、今回の研修を通して多くの気づきを得ることができました。このような貴重な経験をする機会をいただいた三条南ロータリークラブ様と当日ご引率、ご指導をくださった青少年奉仕委員長の内藤様、青少年奉仕委員の木村様には、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

それでは簡単ではありますが、研修内容についてご報告させていただきます。

今回のライラ研修は、「より、気持ちの良いまちづくりを求めて！」というテーマの下、地域問題や自治行政を専門とする評論家の安藤頌太郎様を講師にお迎えし、安藤講師と受講者が意見を述べ合うという形式で行われました。

1日目前半は、自分の街に対する不平や不満を徹底的に述べていくというもので、受講者からは、原発問題や農業問題といったものから、娯楽施設が少ない、喫煙者のマナーが悪い、年配の人がいちいちうるさい、などといったものまで、様々な意見が出てきました。

1日目後半の研修では、前半で出たそれぞれの不平不満について、どのような解決策があるかについて、研修生全員で意見を出し合い、議論しました。しかし、私自身も含め、明確な解決策を出すことは出来ませんでした。

そして、2日目の研修では、前日の議論を踏まえ、問題解決のために受講者各自が何をしていくべきなのかを議論しました。

私は、この2日間の研修を通して、自分自身が住んでいる三条市という街について、ほとんど知識をもっていないこと、そして自分なりの考えがないことを痛感させられました。安藤先生は、研修の中で「大切なことはまずは街に興味を持つことである。そして、人がやるのではなく、自分でやることを意識することも大切だ」と仰っておられました。

私は、今まで自分の住む三条という街について深く考えることはなかったですが、この研修を通して、少しでも三条に住む人間としての意識を変えることができたように思います。今後は、自分が住む街をより良い街にしていきたいために、自らが考え、行動していくことを実践していきたいです。

研修の報告は以上で終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。





研修風景



### 三条信用金庫 堀内 諒 さん



初めまして、三条信用金庫大崎支店の堀内 諒と申します。この度は、ライラ研修という貴重な研修に参加させていただき、誠にありがとうございました。研修では、様々な意見交換に加え、普段関われないような地域、業種の方とも交流でき、楽しくも有意義な2日間を過ごすことができました。大変貴重な経験をさせていただきましたこと、深くお礼申し上げます。

それでは、簡単ではありますが、研修内容についてご報告させていただきます。今回は、ロイヤル胎内パークホテルにて、「より、気持ちのよいまちづくりを求めて」というテーマのもとで2日間の研修が行われました。まず1日目は、研修生一人一人が地元に対する不平不満を述べあい、地元が抱えている問題点の整理と解決策の発表をするという内容でした。そして、2日目では初日に出てきた意見を踏まえて、実際に自分がどのように行動するかを述べるという流れで研修は進行しました。意見交換の方法は、グループワークではなく、講師の安藤先生と研修生が互いに意見を出し合うという方式でした。初めは参加者全員の前で意見を発表することに若干抵抗感がありました。しかし、先生自身が率先して本音を話して下さり、我々にも率直な意見を積極的に述べるよう求めてくださったおかげで、様々な意見が出てくる場となり、2日間を通して活発な意見交換ができたと思います。

次に、今回の研修の感想を述べさせていただきますが、正直なところ研修前の私はやや消極的な気持ちで研修に臨みました。そのため、事前提出のアンケートでは浅い意見しか書くことができず、研修1日目も自ら意見を出すことより、周りの意見に耳を傾けることの方が多かったと思います。しかし、安藤先生や他の研修生の真剣な意見を聞いているうちに、自分自身の地元に対する意識の低さや興味関心の無さを痛感させられ、同時にそんな自分に恥ずかしさを覚えました。私はこの研修をきっかけに、よりよいまちづくりのためにも、自分自身の為にも、まずは周りの環境について広い視野を持ち、興味関心を深めていくことが必要であると感じました。

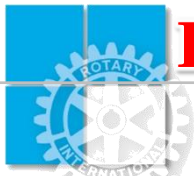
最後に、先生がおっしゃった中で心に残っている言葉があります。「感じて、考えて、行動することが大切だ」という言葉です。考えなければ行動は生まれ、気持ちが無ければ考えも生まれ、そして気持ちを生むためには視野を広げ、興味関心を持つ必要がある。まちづくりのための問題点と解決策を考える際に先生がおっしゃった言葉ですが、これはまちづくりに限らず、人生の歩み方にも通じる大事な心得だと感じました。

今後は、この言葉を念頭に、ただ周りに流されるのではなく、自分の周りで何が起きているのか、何が足りないのかを積極的に知る努力をし、日々自らの考えを持ちながら生きていこうと思います。

以上で報告を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



ライラ修了証書 授与



## ロータリーとゲイツ財団が 第5回世界ポリオデー特別イベントを開催 撲滅活動の進展を報告

記事：Ryan Hyland 写真：Alyce Henson

10月24日、ロータリーリーダー、保健専門家、著名人らが集った世界ポリオデー特別イベントで、ポリオ撲滅がこれまでの歴史上で最も現実に近いことが説明されました。このイベント（End Polio Now：歴史をつくるカウントダウン）では、ポリオをなくすために尽力する人びとを紹介し、[世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）](#)の進展を振り返りました。

ロータリーと[ビル&メリンダ・ゲイツ財団](#)が共催したこの45分間のイベントは、米国ワシントン州シアトルにあるゲイツ財団本部で行なわれ、その模様は世界にライブ配信されました。NBCの地元局アナウンサーでシアトル・ロータリークラブ会長のマーク・ライト氏、CNNアナウンサーのフレデリカ・ウィットフィールド氏が司会を務めました。

ライト氏は、野生ポリオウイルスによる今年の症例数は12件（アフガニスタンで7件、パキスタンで5件、ナイジェリアは0件）であることを報告。この数字は2016年と比較して70%の減少であり、歴史上で最も少ない数字であることを付け加えました。

「この活動のスケールは壮大です」とライト氏。「毎年、洗練されたワクチンの供給・運搬ネットワークを通じ、実に22億服のワクチンが4億3000万人の子どもに投与されています」

ゲイツ財団最高執行責任者のスー・デスモンド・ヘルマン氏はイベントの冒頭で、ロータリー会員と前線で活動する保健従事者のポリオ撲滅への献身を称えました。

デスモンド・ヘルマン氏は、「世界中の何千人ものボランティアが、時には危険な状況に立ち向かいながら活動してくださるおかげで、この活動が可能となっている」とし、「これらの影の立役者は、ロータリアンと共に活動しています。世界のどこにしよう、ロータリアンは、静かながらも確固たる決心を示しています。1600万人の子どもたちがまひにかからず、自分の足で歩いていることは、彼らの尽力なくしてはあり得ません」と述べました。

今年6月に行われたロータリー国際大会で、ゲイツ財団とロータリーは、ポリオ撲滅活動における[長年のパートナーシップ合意を更新](#)しました。具体的には、今後3年間、ロータリーが毎年5000万ドルを集めるごとに、ゲイツ財団が2倍の上乗せを行うというものです。この合意により、ポリオ撲滅のために4億5000万ドルが集まることとなります。

ロータリーは1985年以来、ポリオ撲滅のために17億ドル以上を投入してきました。今月初め、ロータリーはGPEIが先導する予防接種とサーベイランス活動を支援するため、4950万ドルの補助金を提供しました。

国際ロータリー副会長ティーン・ローズ氏もイベントでスピーチし、ロータリー会員が革新的な方法でポリオ撲滅のための募金を行なっていることを紹介しました。その例として、南アフリカのロータリークラブが地元の商店にEnd Polio Nowの貯金箱を設置したことや、ブラジルのローターアクト・クラブがロックコンサートを実施してチケットの売上金をポリオ撲滅に寄付したことなどに触れました。

ローズ副会長はまた、世界ポリオデーにちなみ、世界中でロータリアンが2,700件以上のイベントを開催しているとし、「歴史とは複雑なものです。ポリオワクチンを開発したジョナス・ソークやアルバート・サビンのような方々に助けられながら今日までできましたが、その裏は複雑であり、影の立役者がいます。その中で一番なじみのある人びとは、私の仲間であるロータリアンたちです」と述べました。



紙面の関係で以下略させていただきます



### スマイルボックス傑作集

## 今週の傑作

#### 1999-2000年度

- 1999 10/25 吉井君  
休会やメイクアップも含めて、やや1ヶ月ぶりの出席となりました。出ないでいると、おっくうになる事よくわかりました。
- 1999 11/15 佐藤(栄)君  
弁当がありません。災難に遭った時の心準備。空腹をしのぐ訓練の例会です。
- 1999 12/27 佐藤(栄)君  
1999年最後の記念すべき例会です。次回は2000年度です。その間何が起きますやら！！
- 2000 1/17 長谷川(晴)君  
2000年、新世紀がスタートいたしました。地球が平和に推移されますように、会員諸兄のご多幸を祈念しつつ、本年もよろしくお願い申し上げます。